

6 退院後6週間以内での緊急再入院率

指標の解説

- 患者の中には、退院後6週間以内に予定外の再入院をすることがある。
- その背景として、初回入院時の治療が不十分であったこと、回復が不完全な状態で患者に早期退院を強いたことなどが要因として考えられる。
- 緊急再入院率が低い場合には、入院期間中に十分な治療が行われたと評価できる。

分子：様式1の「予定・救急医療入院区分」が「救急医療入院」又は「救急医療入院以外の予定外入院」に該当し、かつ様式1の「7(1)再入院種別」で「予期された再入院」又は「予期せぬ再入院」が入力された症例

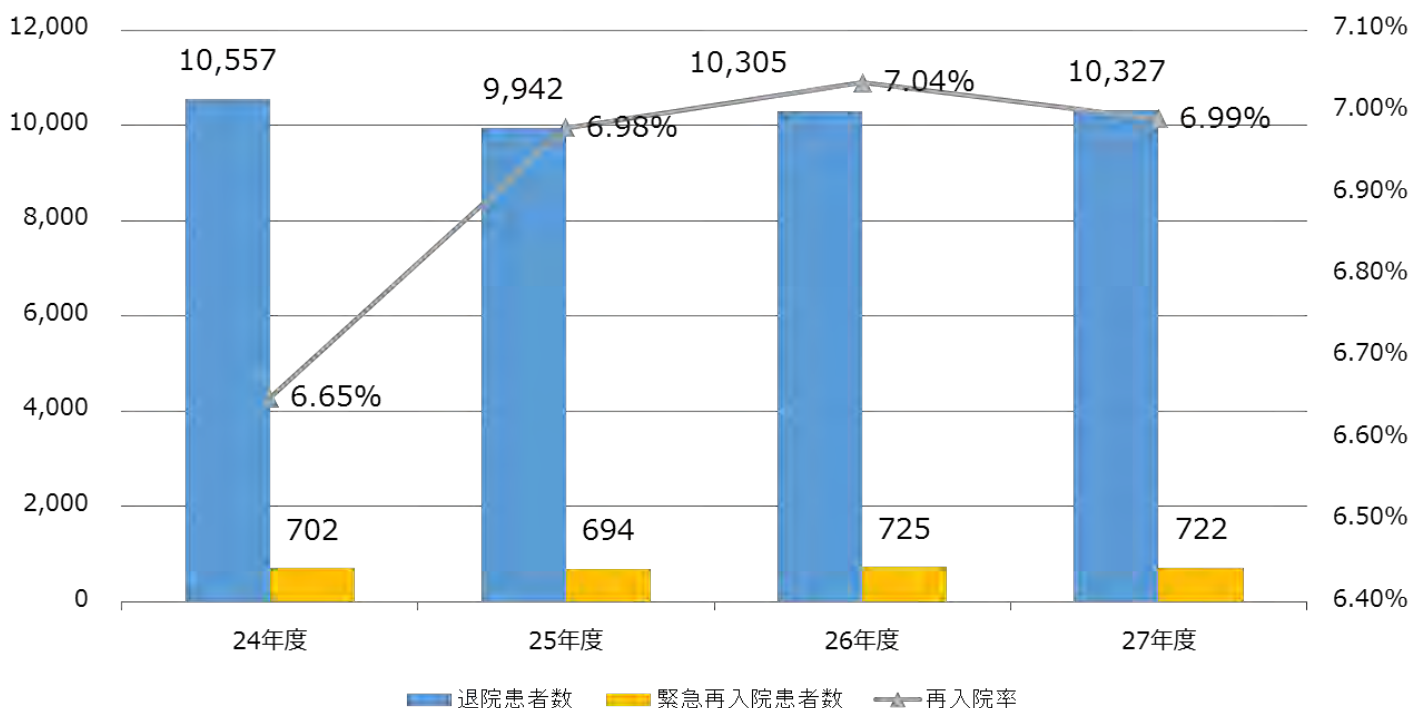
分母：退院患者数

参考値：5.52%

分子：退院後6週間以内の救急入院患者数

分母：退院患者数

(引用元：一般社団法人日本病院会作成「2014年度QIプロジェクト結果報告」、参加病院の平均値)



当院における再入院率の高い疾患は、主に、呼吸器疾患（肺炎、誤嚥性肺炎）、消化器疾患、循環器疾患となっている。